

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2021/08/27

Forex

| | Close | CHANGE |
|-----------|--------|---------|
| USD/THB | 32.76 | -0.05 |
| JPY/THB | 0.2976 | -0.0007 |
| USD/JPY | 110.09 | 0.07 |
| EUR/THB | 38.50 | -0.12 |
| EUR/USD | 1.1752 | -0.0020 |
| USD/CNH | 6.485 | 0.015 |
| SGD/THB | 24.18 | -0.07 |
| AUD/THB | 23.71 | -0.16 |
| USD/INR | 74.22 | -0.02 |
| USD Index | 93.06 | 0.24 |

Bond

| | Close | CHANGE |
|-----------|-------|--------|
| 5Y (THB) | 0.752 | 0.011 |
| 10Y (THB) | 1.609 | 0.007 |
| 5Y (USD) | 0.849 | 0.031 |
| 10Y (USD) | 1.349 | 0.010 |

Commodity

| | Close | CHANGE |
|-----------|---------|--------|
| GOLD | 1,792.2 | 4 |
| WTI (Oil) | 67.42 | -0.94 |
| Copper | 9,299.5 | -56.5 |

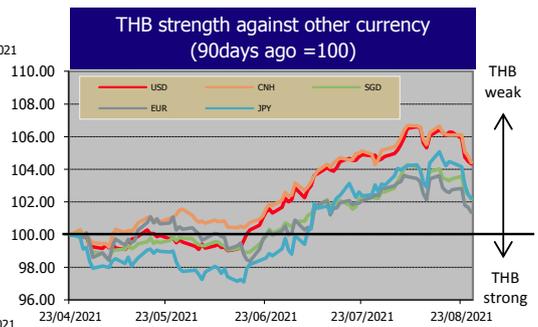
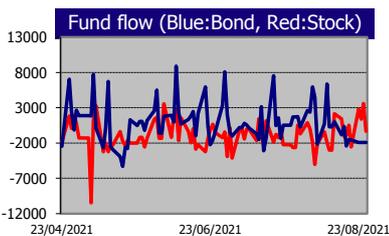
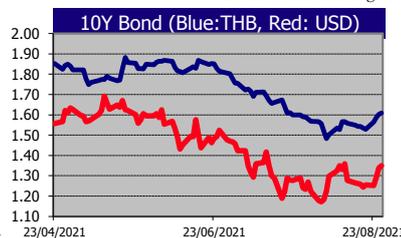
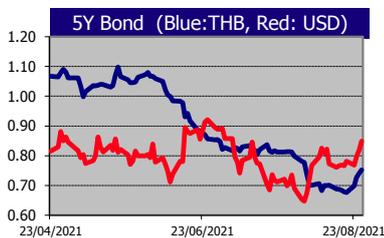
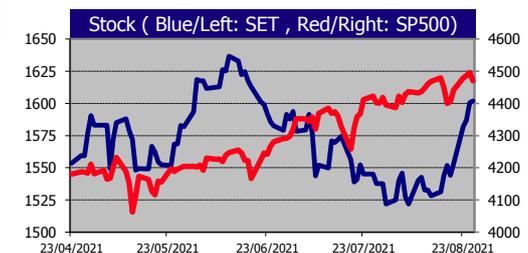
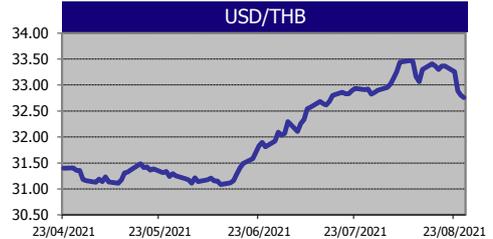
Stock

| | Close | CHANGE |
|-------------|-----------|---------|
| SET (TH) | 1,601.91 | 1.42 |
| NIKKEI (JP) | 27,742.29 | 17.49 |
| DOW (US) | 35,213.12 | -192.38 |
| S&P500 (US) | 4,470.00 | -26.19 |
| SHCOMP (CN) | 3,501.66 | -38.72 |
| DAX(GER) | 15,793.62 | -67.04 |

Fund Flow (Overseas Investors)

| | Close | CHANGE |
|----------------|---------|---------|
| Stock net flow | (344) | -3950.2 |
| Bond net flow | (1,932) | 0.0 |

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは32パーツ後半で取引開始。更に下値を探るには材料不足でバンコク時間は小動き。その後の海外時間、2Q米GDP改定値が発表され、上方修正されるも反応は限定的。また、2人の地区連銀総裁からタカ派コメントが続いたが、ジャクソンホールを前に市場の反応は静かなものとなり、終日狭いレンジでの推移となった。

●ドル円その他

昨日のドル円は110円付近で取引開始。本邦勢のドル買いにより小幅上昇したが、持続せず。その後、アジア時間終盤には米金利上昇にサポートされて110円前半で推移。海外時間、FRB当局者のタカ派発言が出ると、ドルインデックスが上昇したが、タカ派発言を嫌気して株安に。加えてアフガニスタンで自爆テロと推測される爆発が発生、米軍兵士13名が亡くなるというニュースがリスクオフを意識させたことでドル円は上値重く110円近辺で引けた。

Bangkok Dealer's Eye

本日開催されるジャクソンホールシンポジウムでは、FRBパウエル議長が新しい情報を発信する可能性が低いだろうと見ている投資家が多いようです。しかし、昨日はそうした投資家の考えに反するように、FRB当局者からのタカ派コメントが続きました。セントルイス連銀のブラード総裁はテーパリング開始の必要性を強調。また、ダラス連銀のカプラン総裁は9月FOMCでテーパリングを決定し、10月から着手することを支持しています。こうした2人の当局者のタカ派コメントは、デルタ株の脅威に経済が晒されている中でも、そのリスクを織り込んでFRB内で議論が進んでいるように感じられますが、足許では米の弱い経済指標、消費者マインド悪化が確認されており、慎重なパウエル議長からは市場を動揺させるようなコメントが出てくるとは考えにくいかもしれません。パウエル議長から特段階み込んだコメントがない限りは、無難に通過すると思いますが、ハト派なコメントが出て、リスク性資産を後押しすることで米金利が上昇する可能性もあり、ハト派、タカ派どちらに振れてもドル高で反応する可能性があると考えております。(鈴木)